



平成19年度文化庁芸術団体重点支援事業

第八回廣田鑑賞会能

平成十九年五月十三日(日)

午後一時三〇分始曲

熊野

廣田 幸稔

Hirota Yukitoshi

三段之舞
短冊留



狂言

花争

茂山 千之丞

ごあんない

村瀬 和子

〔面〕孫次郎 装束／銀石畳小菊 櫻小田卷唐織(金剛家蔵)



会場 **金剛能楽堂**

TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

◆料金／【一般】8,000円【会員】7,500円【学生】3,000円

◆主催／廣田鑑賞会 ◆指導／宗家 金剛永謹 ◆後援／金剛会・京都新聞社

第八回 廣田鑑賞会能

午後一時半始曲 金剛能楽堂

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会能にご支援いただき、ありがとうございます。
 桜前線の北上が待ち遠しい季節になって参りました。今回は春の謡の人氣曲『熊野』をとりあげます。俗に「熊野松風に米の飯」と申しまして、何度聞いても親でも飽きがこない、謡えば謡うほど味わいが出る名曲です。狂言は春にちなんで、風流な「花争」をお楽しみいただきます。ごあんないは金剛流の舞台にご造詣の深い、村瀬和子氏にお願いいたしました。
 お忙しい時期とは存じますが是非、都の春の風情を能楽度の舞台にて堪能していただけたら幸いです。ご高覧お待ちしております。
 平成十九年 弥生 吉日

廣田 幸 稔

◆ 番組

◎午後二時三十分始曲

狂言 花争 茂山 千之丞

ごあんない 詩人

― 休憩 ― 二十分

能 熊野 三段之舞 福王和幸
短冊留 永留浩史

豊嶋 晃嗣 廣田 幸稔

宇高通成 金剛永謹 豊嶋幸洋

茂山 あきら 後見 茂山 童司

村瀬和子

河村 大 林 光寿 杉 市和

柴田良平 宇高竜成 今井克紀 今井清隆 掛川昭二 今野恭憲 松野泰憲 廣田泰能 高崎暢久 廣田泰能

◎午後四時過頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

狂言 「花争」

今年はこのほか長閑な春になった。花見に行こうと主人が太郎冠者を誘うと、花見といつても実は桜をみる事なのだから、花ではなく桜と言うべきだといつて問答になる。太郎冠者は「桜」、主人は「花」を詠んだ古歌を次々と披露してお互いを言い負かさうとする。最後は太郎冠者が、「桜」の後に「花」が続く謡をうっかり口にして、例によつて主人に、してみたことかと二本とられます。花にまつわる古歌の間答は、それだけで桜の花が舞うような舞台に華やきを感じさせる小品です。

能 「熊野 三段之舞・短冊留」

遠江国池田(静岡県磐田郡池田)の宿の長熊野は、平宗盛の寵愛を受け、都に留め置かれておりました。故郷の老母が病に臥し、帰郷を願いますが聞き入れられません。折しも侍女朝顔が母の手紙を携えて上京し、熊野は再度宗盛に嘆願しますが、宗盛は無理やり彼女を花見の伴に連れ出します。清水寺での花見の宴で舞ううちに村雨が降り始め、熊野は雨に散る桜花を母の命と重ねて思わず扇で受け止めます。

いかにせん都の春も惜しけれど、馴れしあづまの花や散るらん母を想う熊野の歌に、宗盛は「げに哀れなり」と感じてようやく帰郷を許します。花見の席もそこそこに、彼女は老母が待つ東国へと旅立つのでした。

曲の後半部分。陽春の華やいた雰囲気とは対照的に、心は故郷にある鬱とした想いを隠して舞う熊野の舞がみどころです。今回ははやる熊野の気持ち、小書き「三段之舞」の演出で、ご覧ください。「熊野」の典故は「平家物語」「海道下り」の、平家が都落ちしたのち、源氏にとられた宗盛の弟・重衡が、梶原景時に護送されて池田の宿を通った時に熊野に会ったという話によります。



廣田 幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方先代および当代宗家・金剛永謹と父陸一に師事
 重要無形文化財保持 金剛会理事
 京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

※当日解説付番組あります。

〈次回公演予定〉 第九回 廣田鑑賞会能 平成十九年十月 七日(日) 能「綾鼓」廣田幸稔 狂言「文荷」善竹隆司 解説 西村聡
 第十回 廣田鑑賞会能 平成二十年五月 七日(日) 能「盛久」廣田幸稔 狂言 仕舞 他

菊之会 平成十九年十二月九日(日) 午後二時始曲 能「忠度」廣田泰能

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第8回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前 _____ ■お電話・FAX _____
 ■ご住所 _____ ■一般券 (8,000円) 枚 ■学生券 (3,000円) 枚

会員入会 (第8回、第9回 年2回公演分) 会員7,500円 (年会費 15,000円) ※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 53310) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター
 ●檜書店 ●京都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123